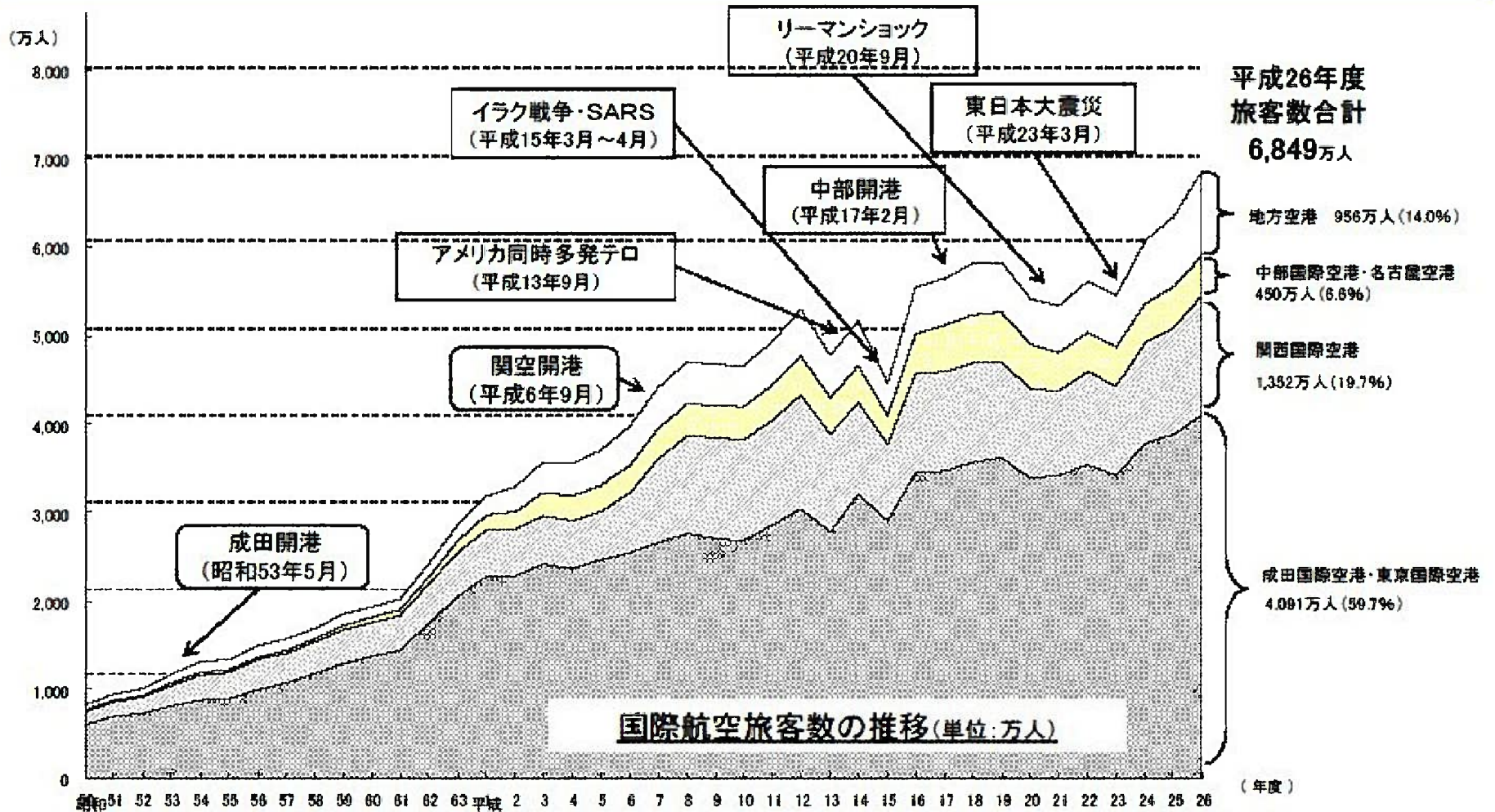


我が国の国際航空旅客輸送の動向

我が国の国際航空旅客需要は右肩上がりで増加傾向にあり、平成26年度では、過去最多の旅客数となっている。なお、平成13年以降のテロ、紛争、景気後退、東日本大震災の発生毎に一時的な落ち込みが見られる。



公募応募
企業連合
の特徴

➤ 大手デベロッパー



在京企業中心に

➤ 運輸・観光

➤ デベ志向（電力）



地元企業の雄

➤ 実績主張できる外資

北九州空港 の強み

- ✓ 24時間運用可能な海上空港
- ✓ 拡張を続ける未利用地の存在
- ✓ 貨物拠点化空港としての将来像の合意形成
- ✓ 九州唯一の定期貨物便就航、コロナ禍での貨物専用機への需要増
- ✓ シーアンドエア実績、ボルガドニエプル航空と覚書手交した初の自治体
- ✓ 滑走路延伸スケジュールの具体化
- ✓ コロナ前には国際線も複数就航し、乗降客数180万人を超えるポテンシャル

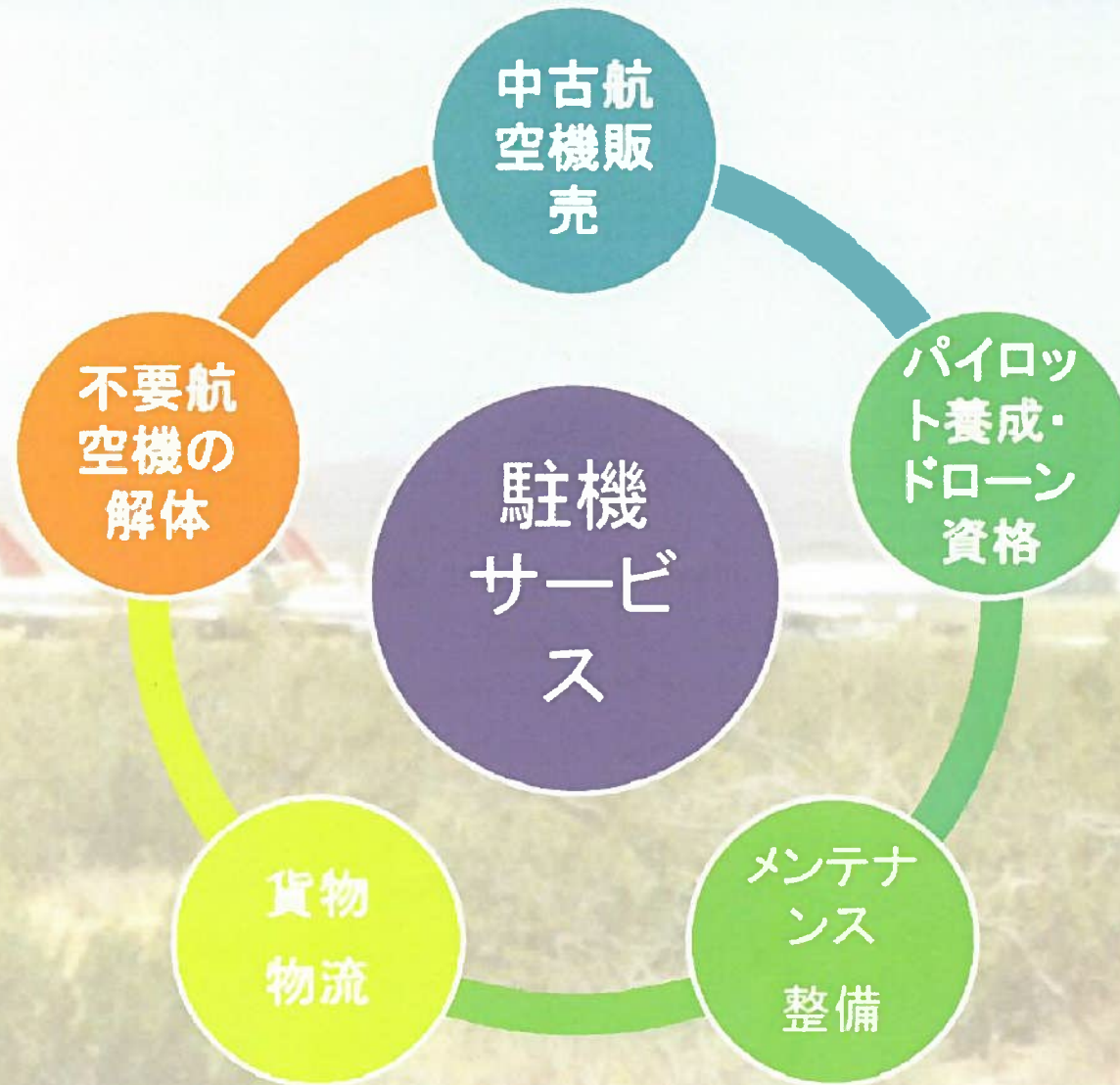








航空機リサイクルパーク構想



アイデア
を糾合する
ための手段
として

- ✓ コンセッションは、目的でなく手段。
- ✓ 空港個々の強みをさらに伸ばす公募実施方針が重要。
- ✓ 北九州空港は、貨物拠点化のアイデアとノウハウを持つ事業者による提案で、福岡空港との連携を進めつつ、単独でのコンセッションが可能（ポテンシャルとして事業機会は十分に訴求可能）
- ✓ DD→MS→実施方針→公募→選定と4～5年かかるコンセッションのこれまでのスケジュールを鑑み、先ずは論点を整理する意味でもDDに名乗りを上げるべきと思慮

ご清聴
ありがとうございます
ございました

(株)MK総合研究所
代表取締役所長
幕 亮二